

令和5年度 学校評価シート(教職員)

【結果】 様式新規R4

回答人数 33人

【目指す学校像】
 学習活動を通して個人の能力を充分伸張させ、勤労愛好と協同一致の精神を育成し、「知」「徳」「体」のバランスのとれた生きる力を身につけ、社会に対する適応力のある人材を育成する学校。

【育てたい生徒像】
 産業技術人として肝要な合理的、科学的、創造的精神を最大限に伸ばし、正義と責任、男女平等、自他の敬愛と協力を重んじ、将来の生き方や在り方を探求することが出来る、有能で誠実な産業人として心身ともにたくましい生徒。

達成度	A	十分に達成した (80%以上)
	B	概ね達成した (60%以上)
	C	あまり十分でない (40%以上)
	D	不十分である (40%未満)

* 右側の達成度の空欄に○印をご記入ください。(12項目あります)

自己評価(分析、計画、取組、評価)							
計画・取組				達成度			
番号	重点目標	具体的取組	評価項目と評価指標	A	B	C	D
1	授業の充実・改善を行い、主体的な学習習慣と確かな学力の定着を図る。	研究・公開授業に積極的に取り組む。また、研究協議を実施し、授業改善への意識向上を図る。	教職員および学校運営協議会、保護者に学期に1回、研究・公開授業を実施し、研究協議ができたか。	11	10	11	1
		生徒が主体的に学び、「分かった」「できた」「考えた」を実感できる授業(ICTの授業活用等、様々な授業手法を積極的に活用する)を構築する。	授業のねらい、評価基準を明確にし、理解しやすい授業展開ができたか。また、各教科において評価基準の見直し、生徒へのフィードバックができたか。	33%	30%	33%	3%
		特別支援教育の観点をはじめ、多角的な支援体制を構築する。生徒の行動変容「良い言動」が増えるように支援を考える。	生徒理解を深めるとともに、生徒の自己肯定感を高め、他者とのつながりによる自己有用感が高められたか。生徒の「学校生活満足度」は向上したか。	9	21	1	2
				27%	64%	3%	6%
2	基本的な生活習慣を確立させ、心身の成長と規範意識の向上に努める。	登校指導、校門指導、担任と副担任によるSHR時の身だしなみ指導、下校指導などを年間通して行う。	地域の関係機関と継続的かつ組織的に粘り強い指導ができたか。また、問題行動を繰り返す生徒の割合が前年度より減少したか。	7	13	11	2
		教科指導や教育相談など、様々な機会に生徒指導に取組、規範意識や人権感覚の向上を目指す。	すべての教育活動を通して、規範意識や人権感覚が向上したか。	21%	39%	33%	6%
		支援を必要とする生徒や保護者等に対し、各科を中心に組織的な支援や対応を行う。各学年を中心に、ケース会議を持ち生徒の情報を共有する。	各科を軸に、直接的・間接的な支援ができたか。また、外部機関とも連携できたか。	5	18	9	1
				15%	55%	27%	3%
3	職業意識の涵養を図るため、継続的に計画された「キャリア教育」の充実に努める。	生徒が自身の生き方・在り方を模索する中で、進路ガイダンス・キャリア講演会等の実施により、進路目標を持たせ、進路実現に向けた指導や準備を推進する。	進路意識向上に向けた個人面談に年間3回以上取組、目標達成のために個別支援ができたか。	9	18	6	0
		「わかやま産業を支える人づくりプロジェクト」を積極的に推進し、地域産業を担うリーダーシップを発揮できる人材育成を目指す。	校友会や関係機関との連携を深めながら積極的に推進し、リーダーの自覚を持った生徒が増えたか。	27%	55%	18%	0%
		就職後の会社訪問による激励等、定着率を高める取組を強化する。	オープンキャンパスや応募前職場見学に参加状況、模擬面接等参加生徒が前年度数を超えたか。また、就職生徒の定着率が向上したか。	7	24	1	1
				21%	73%	3%	3%
4	工業高校として特色ある学校づくりを推進し、地域連携や地域の企業等と連携を密にして、産業を支える人材の育成を図る。	地域や社会の発展を担う職業人を育成する。	地域企業技術者による講習等を実施し、地域とものづくりを通じた連携ができたか。	4	16	11	2
		各学科における、各種資格取得に向けた取り組みを実施する。	各種資格試験取得に向けた補習等を実施し、1つ以上の資格取得ができたか。	12%	48%	33%	6%
		生徒・教職員が本校の魅力を見出し、その魅力の発信により保護者・校友会・地域との信頼や連携を深める。	情報発信力の強化により、生徒たちが取組んだ活動が、十分に発信されたか。	10	20	3	0
				30%	61%	9%	0%